

第3回京丹波町総合計画審議会 議事録要旨

令和7年1月28日（火） 午後1時30分～3時30分

開催場所：京丹波町役場 大会議室

1. 開会

（欠席者：樋口委員、堀委員、山本委員、湊委員、坂本委員）

2. あいさつ

<会長>

お忙しい中、ご出席いただき御礼申し上げます。2025年になって初めての審議会だが、今年は20世紀になって四半世紀の節目であり、京丹波町にとっても10月に20周年を迎える年である。この20年間、様々な方の努力で住みよい街にはなっているが、全国的に高齢化社会となっており、京丹波町でも跡継ぎ問題や人口の減少等が起きております。それに伴い起きている弊害への解決に向けてご意見を賜りたいと思う。

4月からは大阪万博が開催され、京丹波町でも春から夏にかけて参画の予定もあり、10月には合併式典もございますので、それに向けてより良い議論が出来ればと考えている。ご協力のほど、よろしくお願いしたい。

<町長>

ご多忙の中、ご出席賜り御礼申し上げます。例年この「大寒」の時期は一番寒い時期だが、今年は雪が大変少なく生活しやすく、農業から見れば水不足等の心配も懸念される。先ほど会長からもあったが、今年是大阪・関西万博が開催される。様々な課題・問題が取り沙汰されているが、近隣で国際的な博覧会が開かれることは、大いに意義があると感じており、本町も参画する運びとなっている。これを機に、町の特産品や伝統文化・芸能といったものを国内外に発信することは、町の活性化や新たな向上への絶好の機会だと考えている。単なるイベント参加ということだけでなく、地域支援や魅力を活用したタウンプロモーションであり、本町の将来を見据えた取り組みの一環として、交流人口や関係人口の拡大につなげる機会として活用していきたいと思っている。町民の皆様方と未来を共有し、町の可能性を広げ、いつまでも活気のある持続的な京丹波町を作っていけるよう考えていきたいと思う。

本日は総合戦略の素案等のご報告をさせていただき、多角的な視点からのご意見をいただけますと幸いである。今後ともご協力・お力添え賜りますよう、よろしくお願いしたい。

3. 協議事項

①総合戦略（素案）について

（事務局より説明）

【質疑応答】

＜委員＞今後の就農目標値に132人とあるが、どの期間での目標値となるか。

＜事務局＞令和7年度から11年度までの5か年の累積で目標値を132人としており、毎年50～60人程度の増加をしていくと考えている。

＜委員＞現状値の57人から令和11年度に最終的に132人となるということか。

＜事務局＞現状値は2020年から2023年の累計値になっており、それを基準とし、次の5年間で132人まで伸ばしていきたいという意味でも目標値となっている。

＜委員＞「ふるさと納税」に関する目標値が11ページと16ページで異なっているようだが、どちらが正しいのか。

＜事務局＞確認して修正させていただく。

＜委員＞「令和12年に社会減解消」「30人程度」というのはどういう意味か。

＜事務局＞「社会増減」は転入転出にかかる増減のことを指している。現状の「転出超過」から、令和12年までにプラスマイナスゼロほどに持って行き、2040年以降には転入が増える予定としている。その転入が30人程度になるということに記載している。

＜委員＞それぞれの政策パッケージの積み上げが、基本目標の内訳となっていくという認識で合ってるか。

＜事務局＞それぞれの分野の達成度を図るための目標値になっている。それぞれの事業が相互に関連している。数値の表現方法などに関しては、ご意見等いただけますと幸いです。

＜委員＞計画の資料が文字ばかりで見づらいと思うが、写真やイラストなどを入れていただくことは可能か。

＜事務局＞1期からこのような体裁となっているが、イメージ図等を入れていくことも可能かと思うので、検討させていただく。

②パブリックコメントの実施について

(事務局より説明：日程は2月3日から2月14日まで)

【質疑応答】

＜委員＞少しでも多くの人に見ていただいた方が良いかと思うが、「こだち」からも回答は可能か。

＜事務局＞管理方法等を含めてスタッフの方々と相談し、検討させていただく。

＜委員＞LINEでの回答は可能だか。多くの人が見られると思う。

＜事務局＞アプリでお知らせし、ホームページで回答していただくことは可能。アプリでホームページへ誘導する方法を検討させていただく。

4. 次回の審議会について

日時：令和7年2月19日（水） 10時00分～

場所：京丹波町役場 1階防災会議室

5. 閉会あいさつ

＜副会長＞

本日のご説明での目標数値を見ていくと、現状に不安を感じる部分もあるが、施策に関する強い意識を持って取り組んでいかなければならないと再確認した。アンケートやパブリックコメントに関しては、回収率がなかなか上がらない。周りの方への周知やSNSでの発信等で、ひとりでも多くのご意見を賜れますよう、ぜひお声掛けいただけますようお願いしたい。

去年の秋に、沖縄から訪れた方がいたのだが、「綺麗ですね」としきりにおっしゃっていた。何のことかと尋ねたところ、紅葉に関しての感想であった。沖縄には紅葉はないそうで、京都の山々のきらきらとした紅葉に感動しておられた。当たり前にも身の周りにある景色も、他から来た方には新鮮に見えるのだと気付かされ、京丹波町でもそうした魅力を発信していけたら良いなと思う。

本日はお忙しい中お集まりいただき、御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いする。